

## e-DPP / ETAP-DPP を使いこなそう！

### “テンプレート設計” (トピック #020) ～ その3 : スケジュール型データシート～

前号、前々号の2回で e-DPP 「テンプレート設計」機能によるユーザ定義「スケジュール・シート」と同「データシート」の作成を取り上げました。今回は「テンプレート設計～その3」として3つ目の出力形式である「スケジュール型データシート」の作成方法をご紹介します。

普通の「スケジュール・シート」はいわゆる帳票形式で、複数レコードが「1行1レコード」の形で出力されます。また、「データシート」は1ページに1レコードのみ出力される単表形式です。しかし実際には、「スケジュール・シート」では1レコード(1行)に表示できるデータ項目数が少ない、かと言って1ページ・1レコードにするほどデータ項目が多くないという場合がよくあります。そのような場合は、縦方向にデータ項目を並べて、横方向にレコードを展開する形の表を作成すると便利です。出力が見易くなり、紙数を減らすことができます。

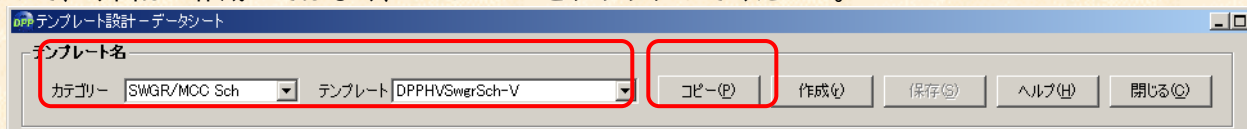
そのような出力フォームを e-DPP では「スケジュール型データシート」、あるいは「縦型スケジュールシート」と呼んでいます。

それでは今までと同様に、早速簡単な「スケジュール型データシート」を作成してみましょう。まず、下図のような EXCEL シートを作成してください。この EXCEL シートは高圧スイッチギア用の「スケジュール型データシート」で、1レコードは EXCEL 列の3列にまたがって表示されます。また1ページには3レコードが表示されます。(C-D-E列、F-G-H列、I-J-K列それぞれが1レコードに対応します。)下図のように作成できたら任意の名前を付けて EXCEL を保存してください。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		プロジェクト名										
3												
4		回路 ID										
5												
6		定格電圧	(kV)			(kV)			(kV)			
7												
8		定格電流	(A)			(A)			(A)			
9												
10		遮断機タイプ										
11												

次に、e-DPP を立ち上げてメニューの「テンプレート設計」から「データシート」を選びます。(「スケジュール型データシート」は e-DPP では「データシート」に分類されます。)

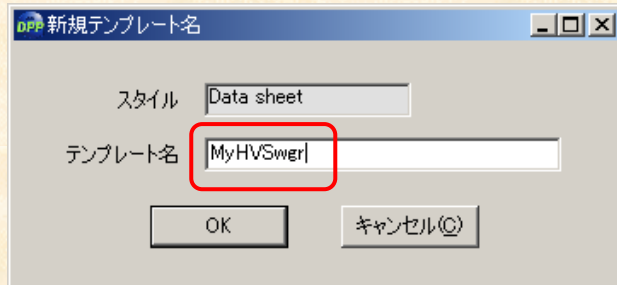
カテゴリーに“SWGR/MCC Sch”、テンプレートに“DPPHVSwgrSch-V”を選択してください。そして、今回は“作成”ではなく、“コピー”をクリックしてください。(\*)



(\*) 「スケジュール型データシート」は e-DPP 内部の特殊構造を継承する必要があるため、既存のテンプレートをコピーします。新規作成を行うと通常のデータシート(単票)作成モードになります。

(次ページへ続く)

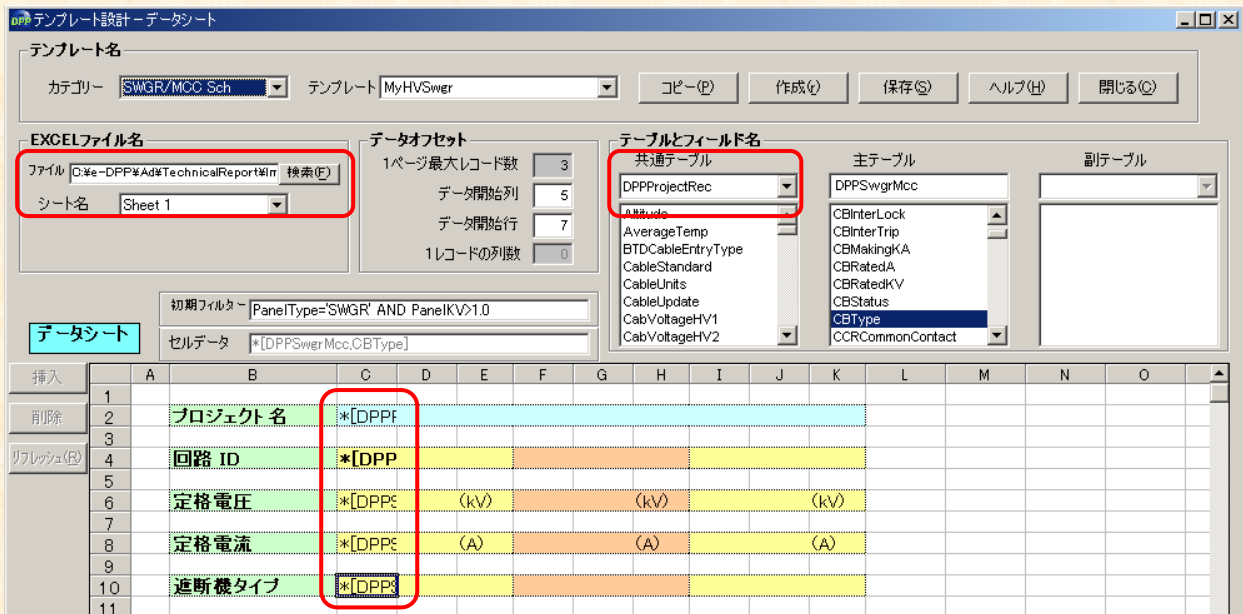
テンプレート名に “MyHVSwr” と入力し、OK ボタンを押します。（今回も既存のサンプルデータである Example2 プロジェクトを使用しています。）



EXCEL ファイル名の欄で、先ほど作成した EXCEL ファイルを呼び出して下さい。EXCEL ファイル作成時にシート名を指定していなければ、シート名には”Sheet1” を選択して下さい。共通テーブルのプルダウン・リストから “DPPProjectRec” を選択し、フィールド “ProjectTitle” を「データシート」部のセル [C:2] ヘドラッグ&ドロップして下さい。

同様に、主テーブル「DPPSwgrMcc」の 4 件のフィールドを次のように、データシート部ヘドラッグ & ドロップします。

セル	フィールド	内容
C4	StarterUnit	( 回路 ID )
C6	CBRatedKV	( 定格電圧 )
C8	CBRateA	( 定格電流 )
C10	CBType	( 遮断機タイプ )



EXCEL 上のフィールドの割り当ては、3 レコードの内、左のレコードに対応するセルのみで結構です。

( 次ページへ続く )

以上の操作が終了したら、「保存」ボタン 「閉じる」ボタンを押して「テンプレート設計」画面を閉じてください。そして、e-DPP メニューの「編集」 「スイッチギア/MCC スケジュール」を実行して、今作成したユーザ定義テンプレート “MyHVSwgr” を選択してください。テンプレートを開くと次のように、あなたが選択した4フィールドのみの編集画面が現れます。

oPP InputTable = MyHVSwgr / 出力ファイル = ユーザ定義スケジュールデータシート.xls

追加(A)	コピー(P)	削除(D)	フィルタ(F)	画面コピー	ヘルプ(H)
拡張(O)	エクセル(T)	ソート(S)	ライブラリ(L)	機器(E)	

	Lock	StarterUnit	CBRatedKV	CBRatedA	CBType
1	<input type="checkbox"/>	52-1A	4.7600	630.0000	VCB
2	<input type="checkbox"/>	52-1B	4.7600	630.0000	VCB
3	<input type="checkbox"/>	52-2A	4.7600	630.0000	VCB
4	<input type="checkbox"/>	52-2B	4.7600	630.0000	VCB
5	<input type="checkbox"/>	52A	4.7600	1600.0000	VCB
6	<input type="checkbox"/>	52B	4.7600	1600.0000	VCB
7	<input type="checkbox"/>	52T	4.7600	1600.0000	VCB
8	<input type="checkbox"/>	52-3B	4.7600	630.0000	VCB

そして、「エクセル(T)」ボタンを押して出力条件設定画面で OK をクリックすると、次のようにあなたが作成した EXCEL シートへ、データベースの内容が 1 ページ 3 レコードの形で出力されます。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L
1												
2		プロジェクト名	電気設備データ処理									
3												
4		回路 ID	52-1A		52-1B			52-2A				
5												
6		定格電圧	4.76	(kV)	4.76	(kV)	4.76	(kV)				
7												
8		定格電流	630	(A)	630	(A)	630	(A)				
9												
10		遮断機タイプ	VCB		VCB			VCB				
11												

( 終 )

問題点・ご要望等をお持ちの方は、お気軽に下記へご連絡ください。

(有) エルテクス設計 亀田

メールアドレス [etap@eltechs.co.jp](mailto:etap@eltechs.co.jp)